

2016 年度 関東学生ヨット春季選手権大会

大会期日 : 2016 年 4 月 16 日～5 月 1 日
開催地 : 神奈川県三浦郡葉山町森戸海岸沖
共同主催 : 全日本学生ヨット連盟 関東学生ヨット連盟
神奈川県セーリング連盟(承認番号 16-02)

後援 神奈川県教育委員会、東京都ヨット連盟、茨城県セーリング連盟、千葉県セーリング連盟、
埼玉県セーリング連盟
協力 葉山町、葉山町漁業協同組合、(株)葉山マリーナ、(有)葉山ヨットサービス
(株)リビエラリゾート

レース公示

1 規則

- 1.1 本レガッタには、「セーリング競技規則 2013-2016」に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則 P を適用する。
- 1.3 「470 級学連申し合わせ事項」、「スナイプ級学連申し合わせ事項」、「乗員、セール、艇の変更に関する規定」、「レスキューに関する規定」、「艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項」を適用する。これらは関東学生ヨット連盟ホームページにて公開されている。
URL: <http://kantogakurenyacht.jimdo.com/書類>
URL: <http://kantogakurenyacht.jimdo.com/学連申合せ-470-スナイプ/>
- 1.4 SCIRA 規則の「国内及び国際選手権大会の運営規定」は適用しない。
- 1.5 以上の規則には、帆走指示書によって変更されている箇所がある。変更の全文は帆走指示書に明記される。

2 参加資格と申し込み

2.1 参加資格

- (1) 乗員が下記を満たす、国際 470 級及び国際スナイプ級。
 - ①加盟大学(校)に学籍があり、入学してから 4 年以内の者で、本大会エントリー表に登録済みであること。
 - ②2016 年度(公財)日本セーリング連盟メンバーであること。
 - ③各クラス協会の 2016 年度会員登録を済ませていること。
 - ④レース委員会が別に定めた書類を指定期日までに提出し、参加料の振込が完了していること。
- (2) 各校の監督及びコーチは 2016 年度(公財)日本セーリング連盟メンバーであること。

2.2 参加可能艇数

レースに参加できるのは、一校につき、各クラス 3 艇ずつまでとする。
参加艇数が 3 艇に満たない場合でも、エントリー締切後の艇の追加は認められない。

2.3 参加申し込み

- (1)参加申込書に必要事項を記入のうえ、次の書類を添付し申し込むこと。
添付すべき書類
 - ・誓約書
 - ・エントリー選手と各校の監督及びコーチの『2016 年度(公財)日本セーリング連盟メンバーカード写し』
 - ・スポーツ安全保険、又は保証内容が同等以上の保険の『保険証書の写し』(参加申込書に記載した競技者の名前が記載されたもの)
- (2)申し込み先

〒251-0032

神奈川県藤沢市片瀬 4-17-7

『関東学生ヨット連盟 総務 荒井 大悟』宛

(3) 申し込み期日：2016年3月25日(金) 期日厳守 必着のこと

上記の期日以降はレイトエントリーとなります。

レイトエントリーの締め切りは、2016年4月1日(金)とします。それ以降は、いかなる事情があっても受け付けません。レイトエントリーの場合は、申込み時に下記連絡先にレイトエントリーの意思があることを必ず連絡してください。

(4) 連絡先

関東学生ヨット連盟 委員長 相前 尚斗

電話番号 : 080-6632-1647

学連アドレス : kantoyacht@gmail.com

2.4 参加料

(1) 両クラス出場校 ¥70,000 片クラス出場校 ¥50,000

片クラスのみで3艇に満たない出場校 1艇 ¥17,000

(2) 振込期日：2016年3月25日(金) 15時 期日厳守 のこと

(3) レイトエントリー

両クラス出場校 ¥80,000 片クラス出場校 ¥60,000

片クラスのみで3艇に満たない出場校 1艇 ¥20,000

(4) レイトエントリー振込期日：2016年4月1日(金) 15時 期日厳守のこと

(5) 銀行名 : みずほ銀行 金沢文庫支店 店番号 899

口座番号 : 普通預金 1159224

口座名 : 関東学生ヨット連盟 会計 金氣 太郎(かなき たろう)

振込人名は個人名ではなく、必ず大学名でお願いします。

(6) エントリー締め切り後の返金を行わない。

3 予選シリーズと決勝シリーズ

本レガッタは、予選シリーズと決勝シリーズで構成される。

第82回関東学生ヨット選手権大会決勝シリーズの各クラス成績上位7位までの大学は予選シリーズを免除する。予選シリーズの国際スナイプ級は成績上位7校が、国際470級は成績上位8校が決勝に進出するものとする。決勝シリーズ進出校は、予選シリーズ最終日の時点での成績に基づき決定する。予選シリーズで起きたインシデントの上告の結果に基づく決勝シリーズのやり直し、成績の変更は行わない。

4 日程

4.1 開会式、閉会式

開会式は、4月16日(土)8:30を予定する。

閉会式は、5月1日(日)のレース終了後を予定する。

4.2 レース日程

4月 22日(金) 艇長会議 (19:00より葉山港にて)

4月 23日(土) 予選1日目

4月 24日(日) 予選2日目

4月 25日(月) 予選予備日

4月 30日(土) 決勝1日目

5月 1日(日) 決勝2日目

5月 2日(月) 決勝予備日

(1) 予備日は予選、決勝とも、両クラスで1レースを完了できていない場合に限り使用する。

- (2) 予選シリーズにおいて予選予備日を使用しても1レースが完了していないクラスがある場合、予選シリーズをそれ以降に延長する。この場合、予選が終了したクラスも含め、決勝シリーズの日程はレース委員会によって変更される場合がある。
- (3) 各クラスのレース成立数の不均衡による調整は行わない。

4.3 レース数

レース予定数は下記の通りとし、一日に行うレース数はレース委員会の裁量により決定する。

クラス	予選レース数	決勝レース数
国際470級	8	6
国際スナイプ級	8	6

- 4.4 それぞれの日の最初のレースの予告信号の予定時刻は、9:25である。
- 4.5 レガッタの最終日には、13:00より後に予告信号を発しない。ただし、13:00以前に予告信号が発せられたスタートがゼネラル・リコールとなった場合の新しいスタート、及び13:00以前に予告信号が発せられたクラスのスタート手順に引き続いて行われる別のクラスのスタート手順の予告信号は、13:00を過ぎて発する場合がある。

5 艇とセールの要件

5.1 艇

- (1) 国際470級は、「470級学連申し合わせ事項」に合致していること。
- (2) 国際スナイプ級は、「スナイプ級学連申し合わせ事項」に合致しSCIRA2016年度登録を済ませていること。
- (3) 学校ごとに登録することができる艇は、各クラス4艇以内とする。
国際470級の艇はMC/MFを持参し、セール計測の際に提示しなければならない。(2011年7月29日以前に登録された艇はMC/MF及び計測登録証明書を提示しなければならない)

5.2 セール

- (1) 国際470級のセールは、国際470級クラス協会規則に準じた基本計測、および2016年度の年度計測を完了していなければならない。
- (2) 国際スナイプ級のセールは、国際スナイプ級クラス協会規則に準じ、2016年の年度計測を完了していなければならない。
- (3) 登録及び使用できるセールは、1校につき各クラス6セット以内とする。
- (4) 同一番号のセール（ダッシュナンバーがついているものも同一とみなす）を、複数の艇で同時に使用してはならない。
- (5) 国際470級については、レース委員会が承認した場合を除きメインセールとスピネーカーのセール番号は、一致しなければならない。

5.3 艇への表示

- (1) 艇体には、「艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項」に定められた表示を示さなければならない。
- (2) 別途に定められた方法で、レース委員会によって指定されたエントリーナンバーを表示しなければならない。エントリーナンバーの色は、国際470級は赤、国際スナイプ級は黒とする。

6 帆走指示書の交付日時及び場所

4月12日までに関東学生ヨット連盟ホームページに公開する。

URL: <http://kantogakurenyacht.jimdo.com/>レース公示-帆走指示書-誓約書/

7 コース

添付の見取り図は、レグ間のおおよその角度、マークを通過する順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

8 艇の得点

8.1 決勝シリーズ得点と予選シリーズ得点

決勝シリーズの得点の算出にあたっては、予選シリーズの得点は持ち込まず、決勝シリーズのレース得点のみを用いる。

8.2 得点の除外

シリーズ得点の算出にあたって、得点の除外を行わない。これは規則 A2 を変更している。

8.3 シリーズに参加した艇数

規則 A4.2 の「シリーズに参加した艇の数」を、「レース委員会がシリーズに参加していると認めた艇の数」におきかえる。これは規則 A4.2 を変更している。

8.4 規則 90.3 (b) を以下のとおり変更する。

次の規則に基づく失格（「DNE」、「DGM」）に対する得点は、レース委員会がシリーズに参加していると認めた艇の数に 5 を加えた得点とする。これは規則 A4.2 も変更している。

- ・規則 2
- ・規則 30.3 の最後の文
- ・規則 P2.2 または P2.3 を適用する場合の規則 42
- ・規則 69.2 (c) (2)

8.5 シリーズ、大会の成立

予選シリーズが成立するためには、両クラスで 1 レースずつが完了していなければならない。本大会が成立するためには、両クラスで決勝シリーズ 1 レースずつが完了していなければならない。

9 学校別順位

9.1 参加艇数が 3 艇に満たない学校

レース公示 2 に従い、クラスのシリーズに参加した学校のうちレース委員会がそのクラスのシリーズに参加していると認めた艇が 3 艇未満の学校については、クラス順位の算出にあたり、艇数が 3 艇となるよう仮想の艇を想定する。その艇のレース得点を次のように計算する。

(シリーズに参加した学校の数×3+1) 点 (略語は DNA)

9.2 クラスのレース得点

学校ごとに、あるレースにおける当該クラスの 3 艇のレース得点を合計し、その学校のそのクラスのレース得点とする。

9.3 クラスのシリーズ得点、クラス順位

学校ごとに、当該クラスのレース得点をすべて合計し、その学校のそのクラスのシリーズ得点とする。クラスのシリーズ得点が低い学校を上位とする。

9.4 総合得点、総合順位

学校ごとに、決勝シリーズの両クラスのシリーズ得点を合計し、総合得点とする。

総合得点が低い学校を上位とする。決勝シリーズに片クラスしか出場できなかった学校については、総合順位の対象外とする。

9.5 タイ

クラス得点がタイとなった場合、各学校の当該クラスのレース得点を用いて、規則 A8 に準じて解く。

総合得点がタイとなった場合、各学校の各クラスのレース得点を、両クラスともすべて良い順に並べて、規則 A8.1 に準じて解く。それでも解けない場合には、その学校の各クラスの、最終レースにおけるレース得点を合計し、その合計得点が低いほうを上位とする。

10 支援艇・観覧艇

学校関係者の管轄下にある、交代要員の運搬や、レスキュー、コーチ、サポート等を目的として大会主催者側に出艇申告を行ったすべての艇を支援艇という。(ただし運営艇を除く)

また、観覧、応援等を目的として大会主催者側に出艇申告を行っていないすべての艇を観覧艇という。支援艇および観覧艇は、「レスキューに関する規定」に従わなければならない。

11 無線通信

レース中、携帯電話も含めいかなる無線通信機器も艇に持ち込んではいならない。

12 賞

決勝シリーズの学校別順位に従い、次のとおり授与する。

(1) 各クラス

賞品 1～3位

賞状 1～6位

(2) 総合

賞品 1～3位

賞状 1～6位

(3) 各クラス成績上位7位までの大学は、第83回関東学生ヨット選手権大会の予選を免除するものとする。辞退する大学があった場合は、順次繰り上げるものとする。

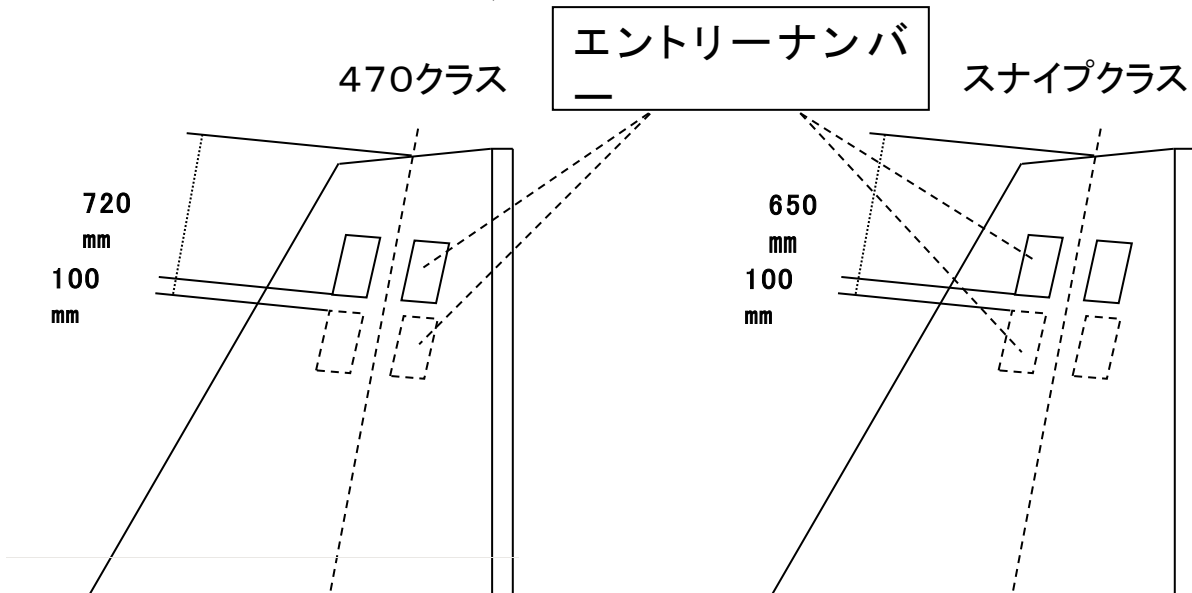
13 責任の否認

本大会への参加者は、すべて自己の責任において参加するものとする。規則4参照。本大会の主催者等は、大会期間中及びその前後に発生したいかなる物的損害及び人的傷害、死亡等について、責任を負わないものとする。

14 大会期間中の競技者の肖像権

本大会期間中の艇、競技者に関連する写真・ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。

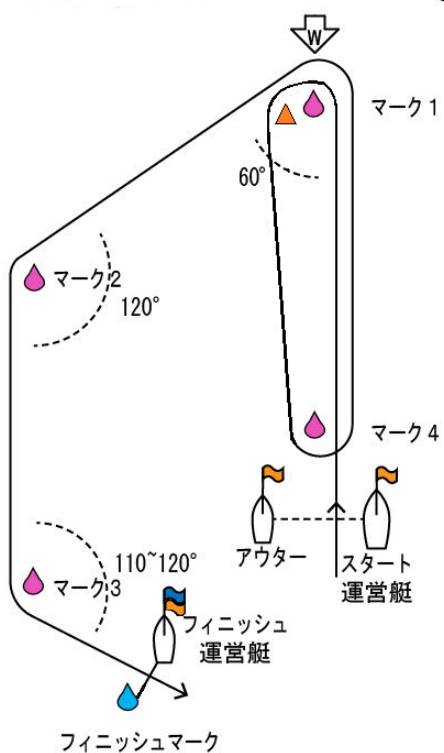
セールへのエントリーナンバーの表示



- ・ エントリーナンバーはスターボード側が上になるように貼ること。
- ・ 一桁の場合は、左右に寄せず中央に貼ること。
- ・ スターボード側とポート側が重ならないようにすること。
- ・ クラスを示す印と重ならないようにすること。このための若干の誤差は認める。

コース図

コース "I" トラペゾイド インナーループ
Start-1-1a-4-1-2-3-Finish



コース "0" トラペゾイド アウターループ
Start-1-2-3-2-3-Finish

